

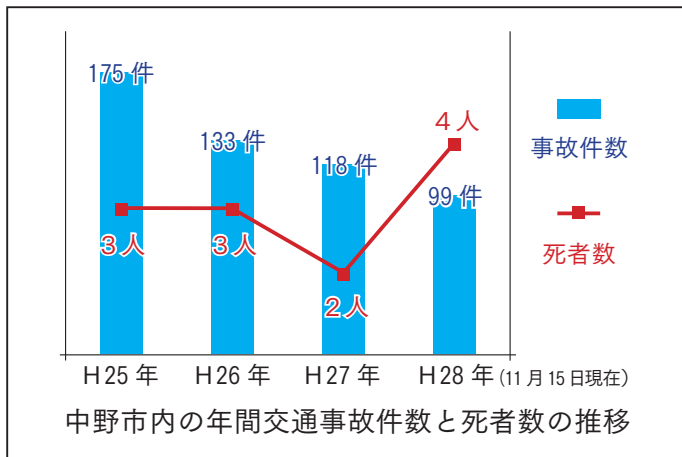
特集

安心・安全な横断で命を守る

夕暮れ時・夜間の交通死亡事故が起きています。
犠牲者はいずれも高齢者です。

今年、市内で発生した死亡事故

月日	時間	場所	事故形態	死者年齢・性別
1月5日(火)	午後6時	新井(国道292号)	軽貨単独・工作物衝突	65歳・男性
10月22日(土)	午後(夕刻ごろ)	豊津(認定外道路)	単独・路上逸脱	83歳・男性
10月24日(月)	午後5時30分	中央四丁目(県道)	普通車2台×横断歩行者	91歳・男性
10月28日(金)	午後5時5分	西条(市道)	普通車×横断自転車	76歳・女性

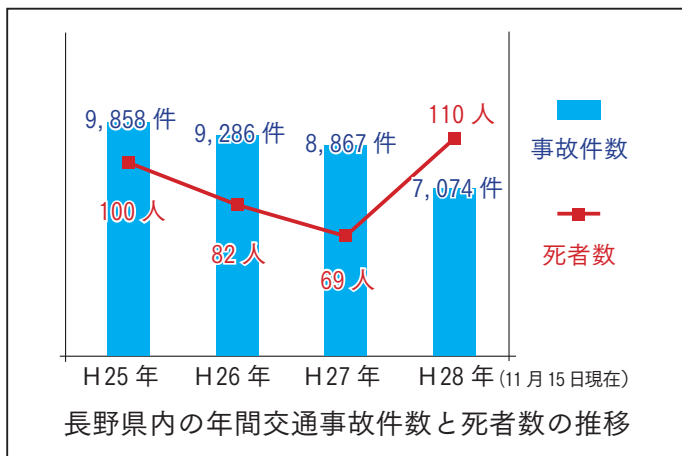


安心・安全な横断のために

市内で、今年10月下旬に連続して3件の交通死亡事故が発生しました。いずれも夕暮れ時に高齢者が犠牲になった事故です。

私たちは、交通事故をなくすために何をすべきでしょうか。交通ルールを守ることはもちろんですが、歩行者、ドライバーのそれぞれが事故に遭わない、起こさないために交通安全を意識することが大切ではないでしょうか。

今回の特集では、私たちが安心・安全な横断を行うために、交通ルールや交通安全で意識すべきことを学んでいきたいと思えます。



交通事故の件数は減少 死亡事故の件数は増加

近年、交通事故の件数は減少しています。しかし、長野県全体また市内で起きた交通事故の死者数は、今年に入り、大きく増加しています(県内死者数の平成28年中14人は軽井沢スキーバス転落事故)。

県全体の死亡事故増加の要因は、平成27年と比べ高齢者の死者数25人増加、歩行者の死者数18人増加という数字にあります。また、夜間の交通事故での死者数は29人増加しています。

高齢者、歩行者、夜間の交通ルールを、もう一度確認してみましょう。

交通事故防止啓発の「見える化」

交通事故死亡事故多発非常事態宣言

本市では、今年10月下旬に連続で発生した3件の死亡事故を受けて、11月8日に「交通事故死亡事故多発非常事態宣言」を発令しました。

この宣言は、多発する交通事故死亡事故に歯止めをかけるため、交通安全運動を展開するものです。市内の大型店舗で啓発チラシを配布したり、高齢者向け交通講話の回数を増やしたりして啓発活動の強化に努めました。中高交通安全協会や中野警察署のほか、交通安全に関わる団体の協力もあり、多くの啓発活動を行うことができました。



問い合わせ先
市民課生活交通安全係
☎ 21111 (内線238)

期間 12月1日(木)～31日(土)

そこで「子どもと高齢者の交通事故防止」を重点的に呼び掛けます。歩行者は、道路の横断には信号機や横断歩道を使用しましょう。また、ドライバーの皆さんは、横断歩道や交差点の近くでは、車のスピードを落とすことを心掛けましょう。

年末は、暗くなる時間帯が早いため、夕暮れ時の歩行・横断中の事故が増えます。また、飲酒の機会増加や積雪・凍結による道路環境の悪化のため重大事故の発生が懸念されます。

年末の交通安全運動

交通事故防止の啓発は市民の皆さんの目に留まることが重要です。市内で死亡事故が起きている現状を認識し、交通安全をより一層意識してもらいたいです。



今、行動のとき

交通安全「私から！」



長野県中野警察署 交通課長
ながし まさひろ
長橋 雅治さん



歩行者の皆さん

- 止まる 道路を横断する前は、必ず止まりましょう。急な飛び出しは大変危険です。
- 見る 左右を見て、車との十分な距離を確認してから横断を始めましょう。
- 目立つ 暗くなるとドライバーは歩行者を見つけにくくなります。夜間、夕暮れ時の外出は反射材の着用や明るい服装で自分の存在をアピールしましょう。

ドライバーの皆さん



- 指さし確認 ハンドルは持ったままで、目と指さしの両方を使い、歩行者がいなかを確認しましょう。
- 早めの点灯 暗くなり始めたら（午後4時以降）車の存在をアピールするためにも、ライトを点灯しましょう。
- シートベルト 車を出発する前に「ベルトした？」と同乗者に確認をしましょう。